

# 令和6年度「香川県県政世論調査結果(速報)」

香川県では、県政の諸問題について、県民の方々の意見や要望等を把握し、今後の施策立案に際しての基礎資料とするため、毎年度「県政世論調査」を実施しています。

今年度は、5テーマについて5～6月に調査を実施しました。「県政の重要度と満足度」については、平成14年度から毎年度実施しています。

## ◆調査の内容

### 1. 防災・減災対策について

県民が、南海トラフ地震に備えてどのような対策を行っているかなどを調査し、また、防災・減災対策について県民が不満に思っている点などを詳しく調査することにより、今後の施策を効果的に進めていくために、防災・減災対策に関するご意見をお聞きしました。

### 2. 環境施策について

「香川県環境基本計画」及び「香川県みどりの基本計画」（令和3年度～7年度）の次期計画の策定に当たっての基礎資料とするために、環境施策に関するご意見をお聞きしました。

### 3. 食習慣・生活習慣について

「第4次かがわ食育アクションプラン」（令和3年度～7年度）の最終評価及び次期計画である「第5次かがわ食育アクションプラン」（令和8年度～12年度）の策定に当たっての基礎資料とするために、食習慣・生活習慣に関するご意見をお聞きしました。

### 4. 人権問題について

人権・同和行政の推進に当たり今後の施策の参考にするとともに、「香川県人権教育・啓発に関する基本計画」（令和3年10月改正）の見直しに役立てるために、人権問題に関するご意見をお聞きしました。

### 5. 県政の重要度と満足度について

『人生100年時代のフロンティア県・香川』実現計画に掲げた分野について、成果や課題を分析しながら施策を進めていくために、「重要度」と「満足度」などをお聞きしました。

## ◆調査の概要

調査地域	香川県全域
調査対象	県内在住の満 18 歳以上の男女 3 千人
抽出方法	選挙人名簿層化二段無作為抽出
調査方法	郵送法（郵送配布。回収は郵送と W e b 回答の併用）
調査期間	令和 6 年 5 月 28 日～6 月 19 日
回収結果	有効回収数 1,369 （有効回収率 45.6%）

※詳しい調査結果は 11 月下旬～12 月に発表する予定です。

※回答の比率は、その設問の回答者数を基数として算出し、小数第 2 位を四捨五入しました。このため、百分率の合計が 100.0%にならないことがあります。

## ◆ウェイトバック集計

平成 29 年度より、調査結果を県政へ反映させるに当たり、年齢による回収率に差が生じる傾向にあるため、より実態に近い参考値として、ウェイトバック集計の導入を行っています。

ウェイトバック集計とは、実際の本県の「年齢別」人口構成比に合わせて、回収結果を補正するものです。

なお、この調査結果は速報のため、主な調査結果については、ウェイトバックした値は記載していません。調査回答者の属性及び単純集計結果（調査票）については、（ ）書きで併記しています。

$$\text{ウェイト値} = \frac{\text{有効回答数}}{\text{年齢区分別回答数}} \times \frac{\text{年齢区分別人口}}{\text{香川県 18 歳以上人口}}$$

## ◆主な調査結果

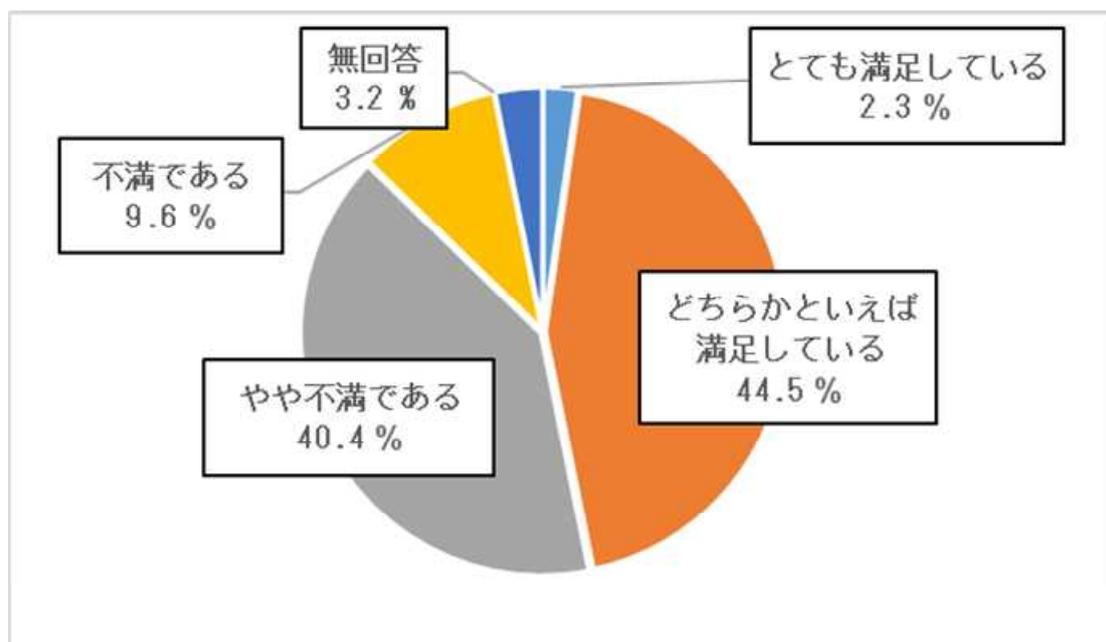
### 1. 防災・減災対策について

防災・減災対策の満足度について、「不満である」（「やや不満である」と「不満である」を合わせた数）が50.0%となっており、「満足している」（「とても満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせた数）の46.8%を若干上回っている。

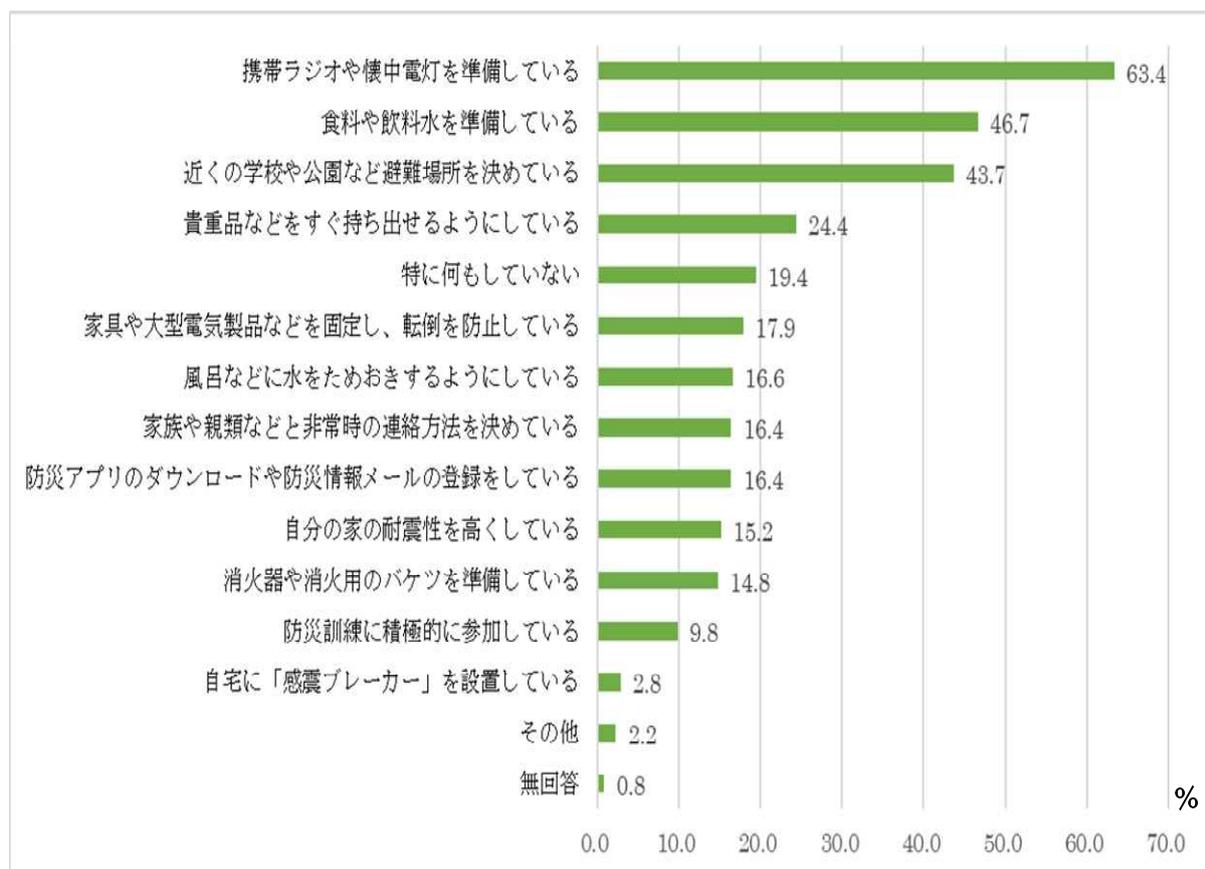
また、今後30年以内の発生確率が70～80%と高まっている南海トラフ地震に備えて、どのような対策を取っているかについては、「携帯ラジオや懐中電灯を準備している」が63.4%と最も高く、次いで「食料や飲料水を準備している」が46.7%、「近くの学校や公園など避難場所を決めている」が43.7%となっている。

また、今後、県や市町に特に力を入れて取り組んでもらいたい防災・減災対策については、「支援物資が確実に避難所に届く体制づくり」が58.9%と最も高く、次いで「食料、飲料水、医薬品などの備蓄」が55.0%、「避難所での快適な生活環境づくり」が51.9%となっている。

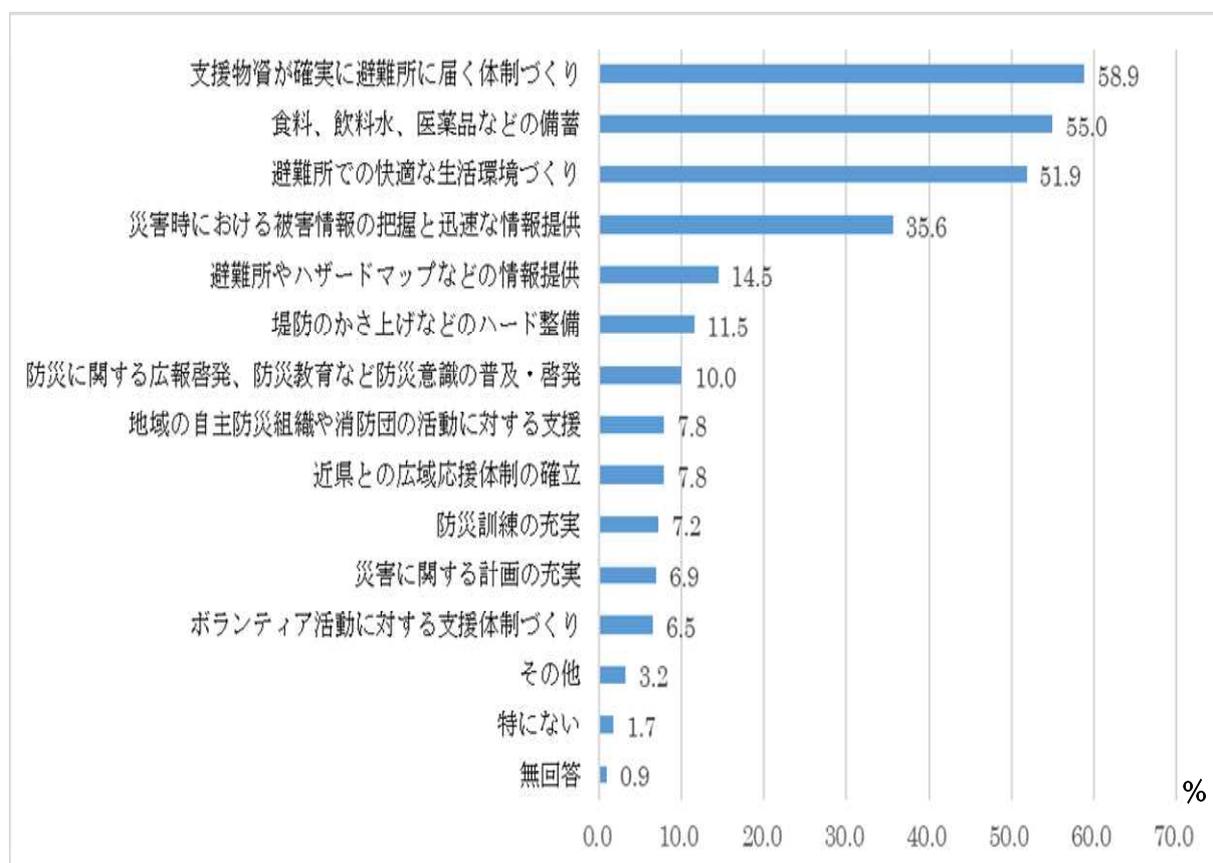
防災・減災対策について満足しているか



### 南海トラフ地震に備えて、どのような対策を取っているか（該当するもの全て）



### 今後、県や市町に特に力を入れて取り組んでもらいたい防災・減災対策（3つまで）



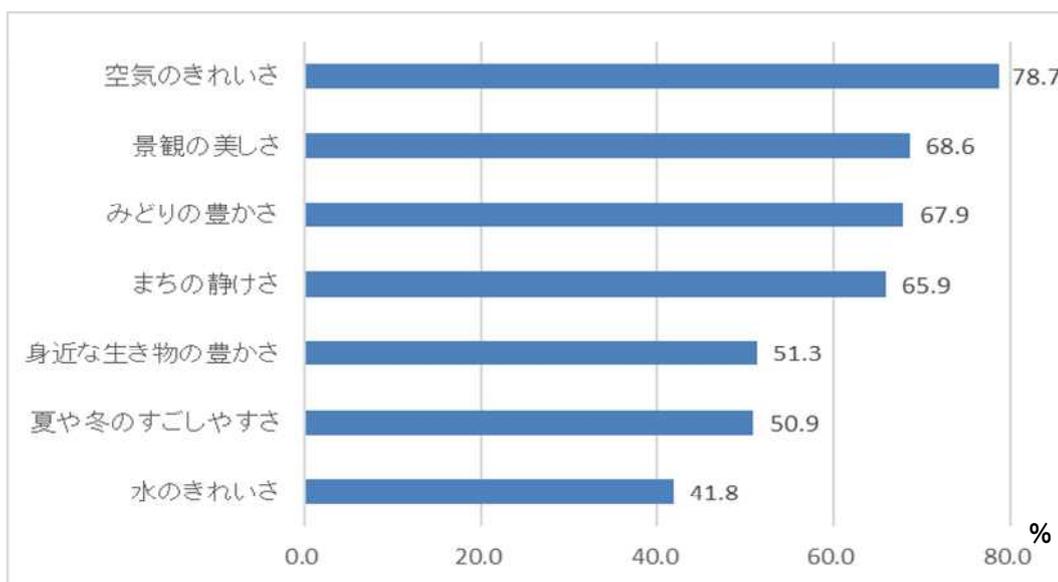
## 2. 環境政策について

身のまわりの環境（7項目）と行政の環境への取り組み（10項目）について、満足度と重要度をそれぞれ五段階で評価を聞いた。

満足度について、「とても満足している」と「やや満足している」を合わせた割合は、高い順に、身のまわりの環境では、『空気のきれいさ』（78.7%）、『景観の美しさ（まちなみ、田園風景、瀬戸内海など）』（68.6%）、行政の環境への取り組みでは、『ゴミの分別、リサイクル対策』（61.4%）、『下水道・浄化槽の汚水処理対策』（54.4%）であった。

重要度について、「とても重要である」と「まあ重要である」を合わせた割合は、高い順に、身のまわりの環境では、『空気のきれいさ』（83.7%）、『水のきれいさ（川、ため池、海など）』（81.2%）であり、行政の環境への取り組みでは、『ゴミの分別、リサイクル対策』（80.4%）、『下水道・浄化槽の汚水処理対策』（79.7%）であった。

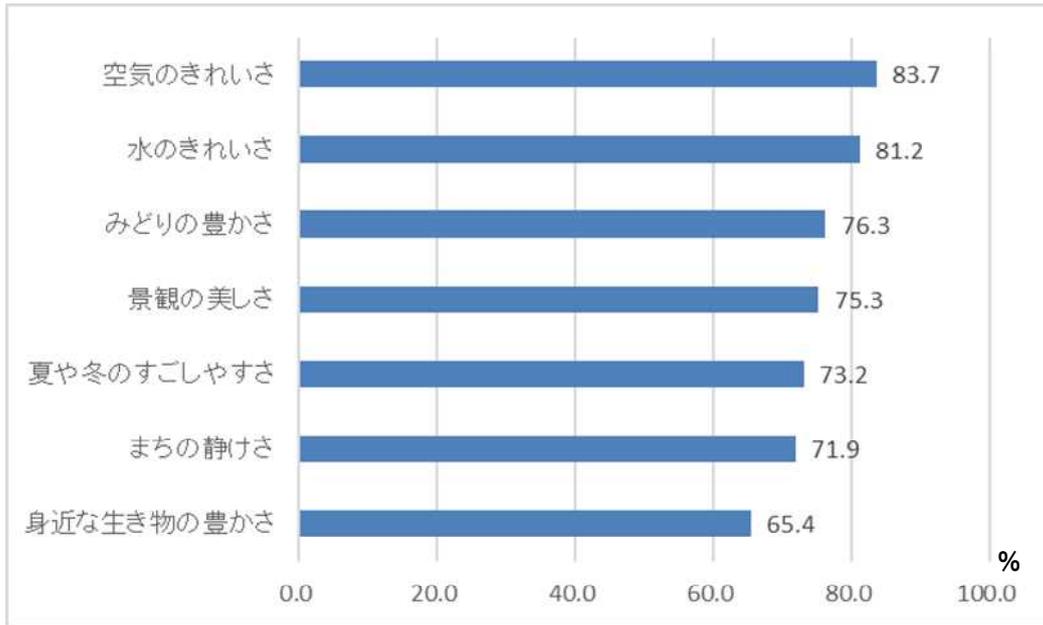
身のまわりの環境に関する満足度



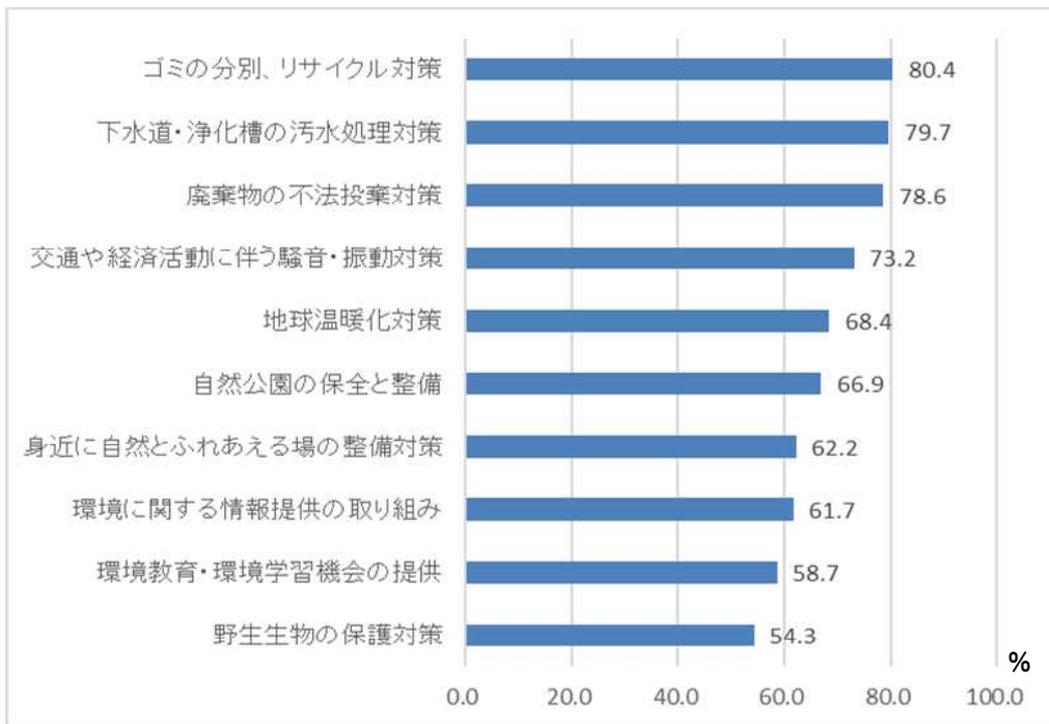
行政の環境への取り組みに対する満足度



### 身のまわりの環境に関する重要度



### 行政の環境への取り組みに対する重要度

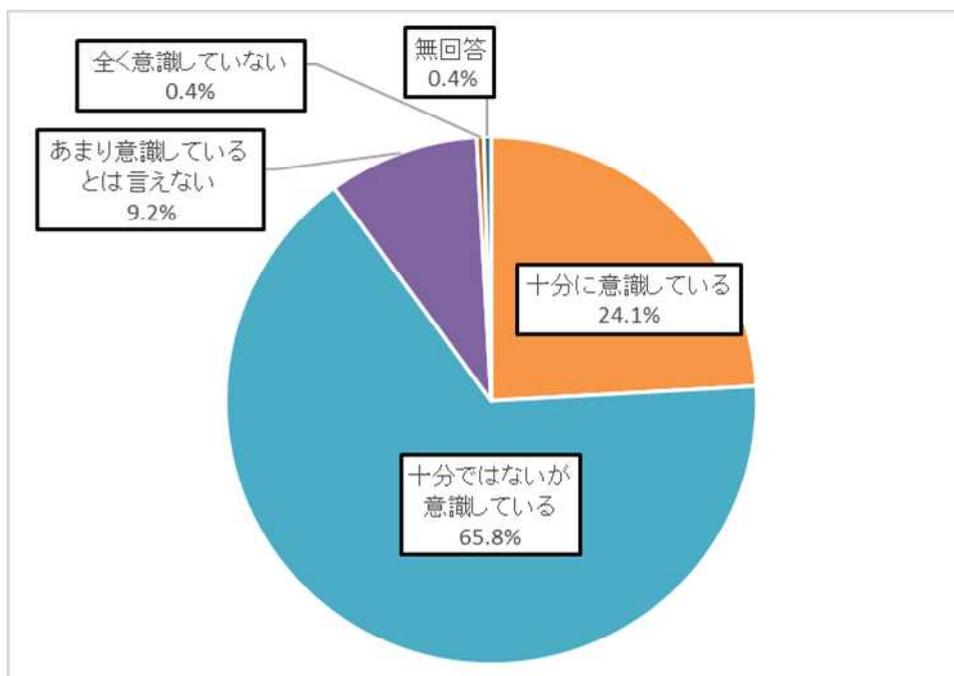


### 3. 食習慣・生活習慣について

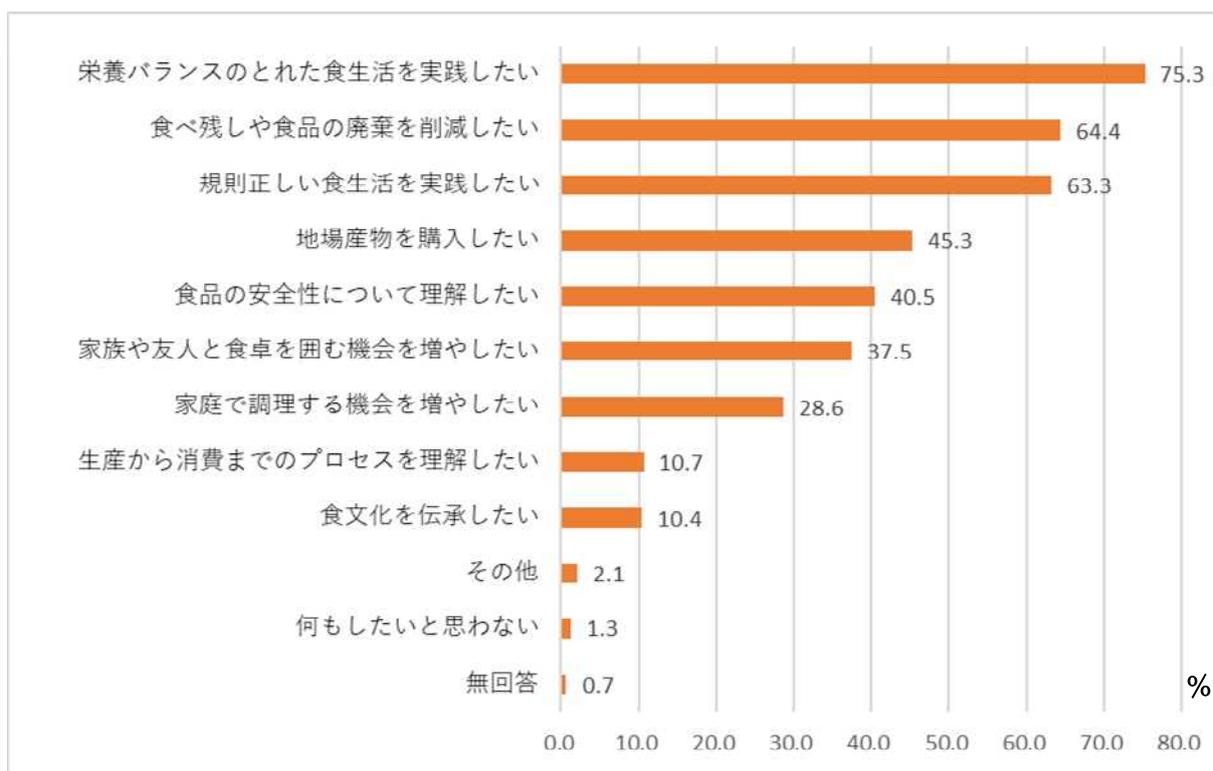
健康や食生活について、普段から意識しているか聞いたところ、「十分ではないが意識している」が65.8%と最も高く、「十分に意識している」の24.1%と合わせて、89.9%が【意識している】となっている。

また、今後1年間、健全な食生活を実践するために、どのようなことをしたいと思うかについては、75.3%が「栄養バランスのとれた食生活を実践したい」と回答している。

健康や食生活について、普段から意識しているか



今後1年間、健全な食生活を実践するために、どのようなことをしたいと思うか  
(あてはまるものすべて)

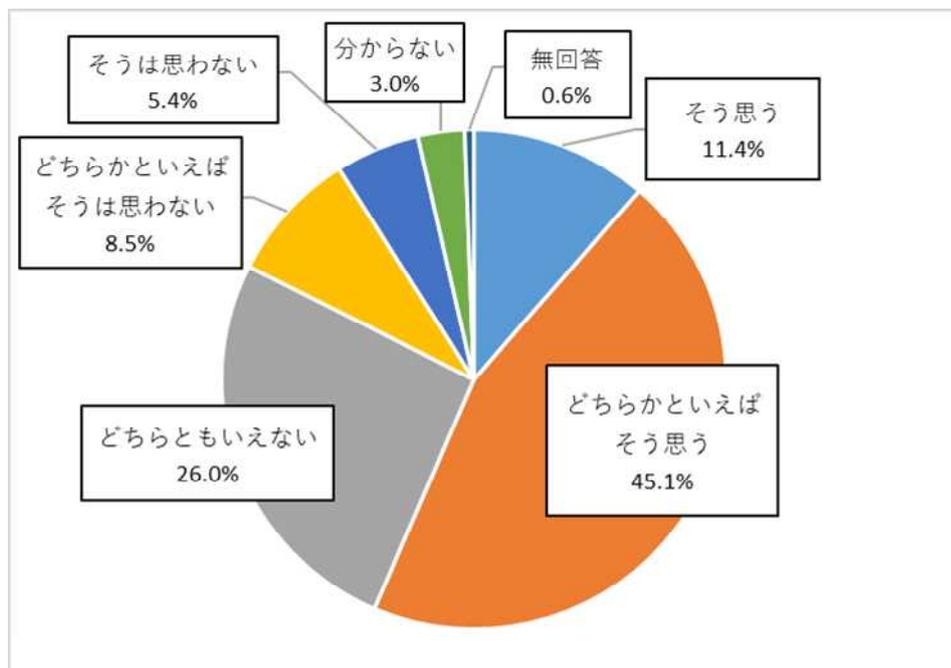


#### 4. 人権問題について

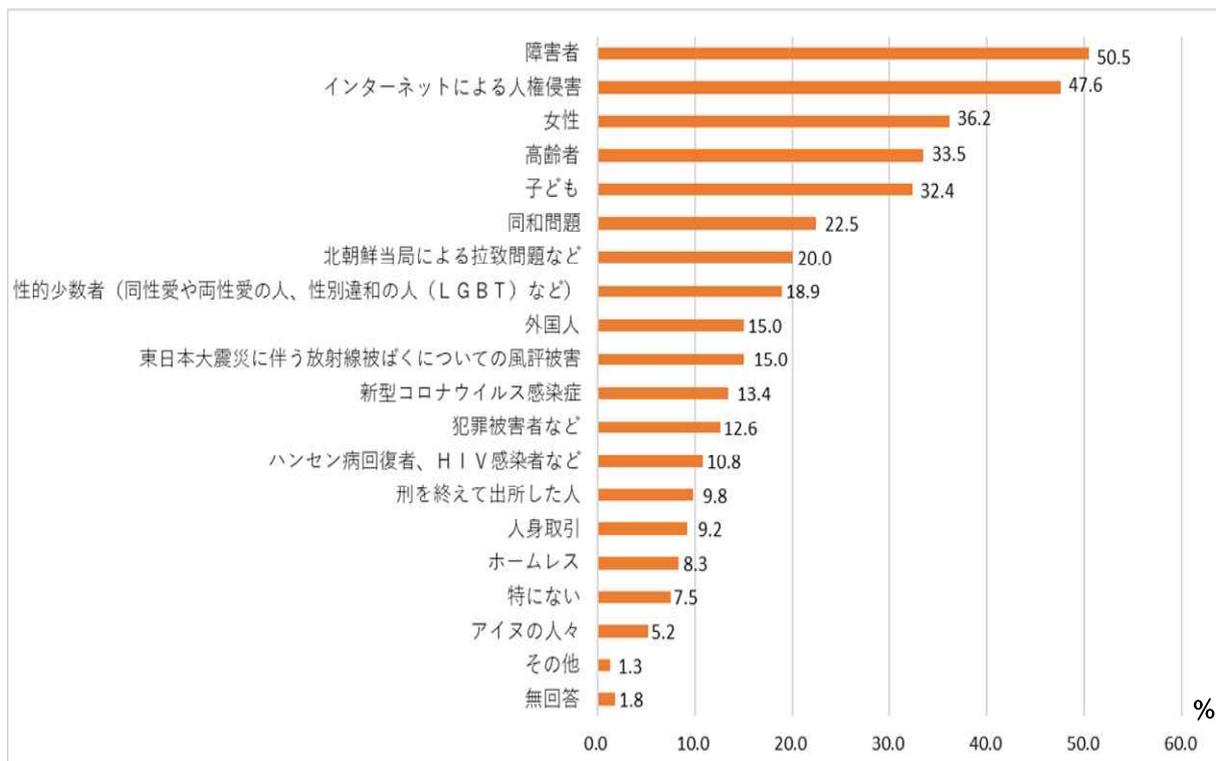
今の日本は人権が尊重されている社会であると思うか聞いたところ、「どちらかといえばそう思う」が45.1%と最も高く、「そう思う」の11.4%と合わせて、56.5%が【そう思う】となっている。

関心がある人権課題について、「障害者」と回答した人が50.5%と最も高く、次いで「インターネットによる人権侵害」が47.6%、「女性」が36.2%、「高齢者」が33.5%、「子ども」が32.4%となっている。

今の日本は人権が尊重されている社会であると思うか



日本における人権課題について、あなたの関心があるものはどれですか（あてはまるものすべて）



## 5. 県政の重要度と満足度について

『人生 100 年時代のフロンティア県・香川』実現計画」の各施策（26 分野）について、どのくらい重要と考えているか、現状にどのくらい満足しているか、それぞれ 5 段階で評価を聞いた。

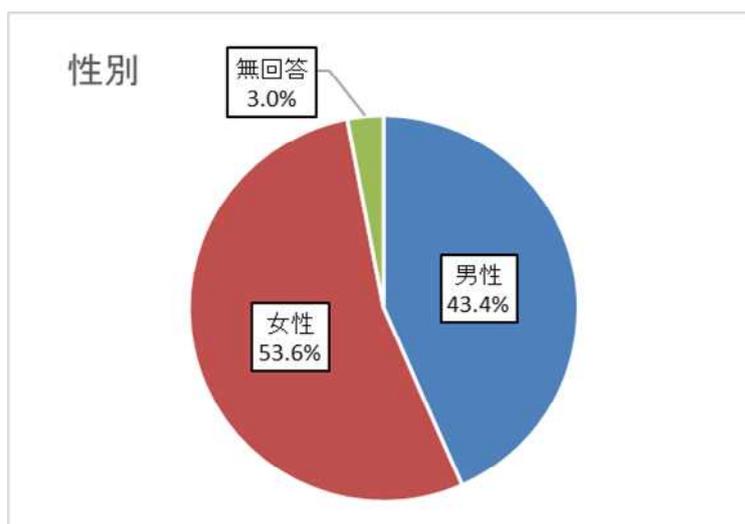
重要度について、「とても重要である」と「まあ重要である」を合わせた割合は、高い順に『防災・減災社会の構築』（88.5%）、『安全で安心できる暮らしの形成』（87.6%）、『子育て支援社会の実現』（86.7%）であった。

また、満足度について、「とても不満である」と「やや不満である」を合わせた割合は、高い順に『交通ネットワークの整備』（19.1%）、『防災・減災社会の構築』（16.9%）、『農林水産業の振興』（15.0%）であった。

（参考）『人生 100 年時代のフロンティア県・香川』実現計画」施策体系

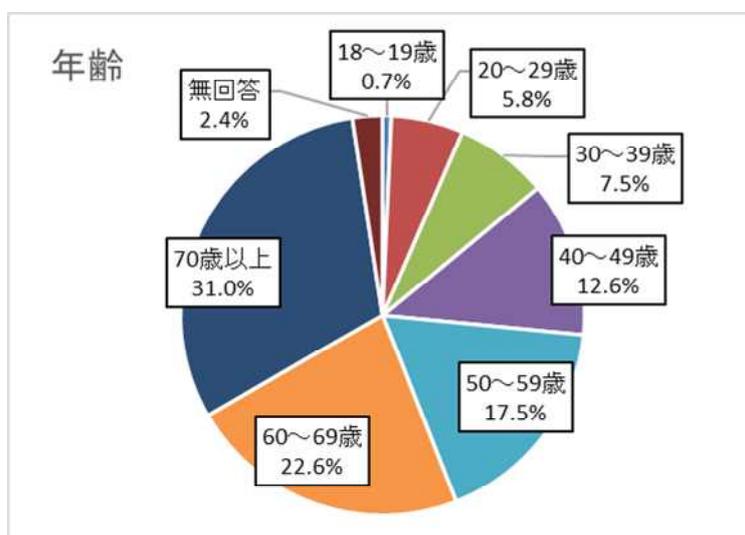
基本目標	基本方針	分野
「人生100年時代のフロンティア県」の実現	1 安全・安心で住みたくなる香川をつくる 「県民 100 万人計画」	(1)子育て支援社会の実現 (2)教育の充実 (3)男女共同参画社会の実現 (4)健康長寿の推進 (5)地域福祉の推進 (6)安心できる医療・介護の充実確保 (7)防災・減災社会の構築 (8)安心して暮らせる水循環社会の確立 (9)安全で安心できる暮らしの形成 (10)定住人口の拡大 (11)魅力ある大学づくり (12)人権尊重社会の実現 (13)青少年の育成と県民の社会参画の推進
	2 活気に満ち挑戦できる香川をつくる 「デジタル田園都市 100 計画」	(14)商工・サービス業の振興 (15)交通ネットワークの整備 (16)農林水産業の振興 (17)県産品の振興 (18)雇用対策の推進 (19)外国人材の受入れ支援・共生推進 (20)環境の保全 (21)みどり豊かな暮らしの創造 (22)活力ある地域づくり (23)デジタル化の推進
	3 多くの人が行き交い訪れたい香川をつくる 「にぎわい 100 計画」	(24)交流人口の回復・拡大 (25)文化芸術の振興 (26)スポーツの振興

### ◆調査回答者の属性



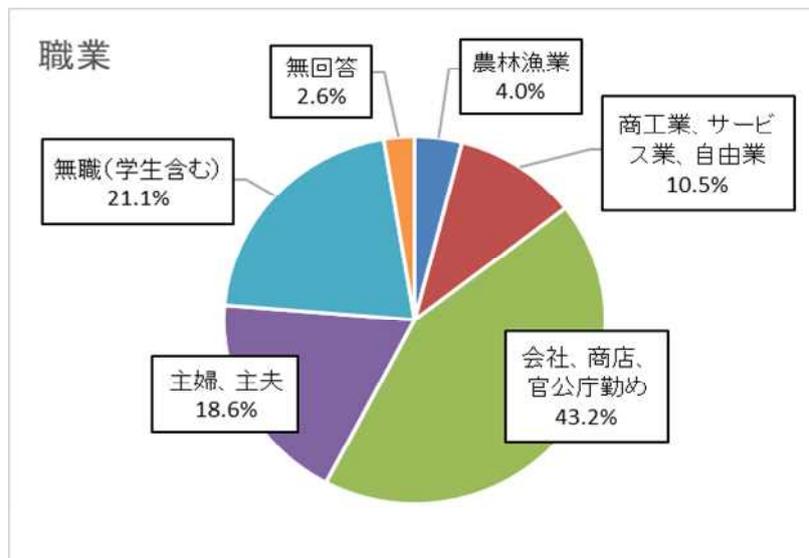
区分	回答者数(人)	構成比(%)
男性	594 (586)	43.4 (42.8)
女性	734 (741)	53.6 (54.1)
無回答	41 (42)	3.0 (3.1)
合計	1369	100.0

※ ( )内の数字はウェイトバックした値



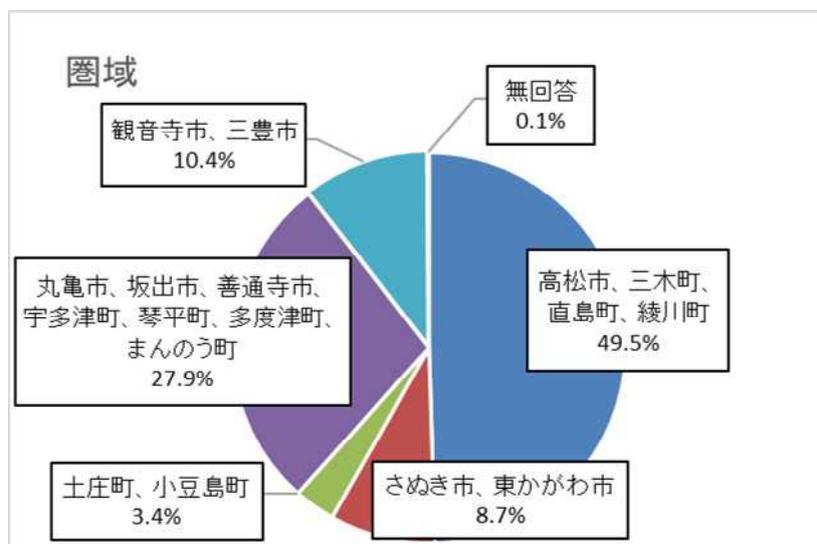
区分	回答者数(人)	構成比(%)
18~19歳	9 (30)	0.7 (2.2)
20~29歳	79 (127)	5.8 (9.3)
30~39歳	103 (153)	7.5 (11.1)
40~49歳	172 (209)	12.6 (15.3)
50~59歳	239 (212)	17.5 (15.5)
60~69歳	309 (194)	22.6 (14.2)
70歳以上	425 (411)	31.0 (30.0)
無回答	33 (33)	2.4 (2.4)
合計	1369	100.0

※ ( )内の数字はウェイトバックした値



区分	回答者数(人)	構成比(%)
農林漁業	55 (51)	4.0 (3.8)
商工業、サービス業、自由業	144 (149)	10.5 (10.9)
会社、商店、官公庁勤め	591 (609)	43.2 (44.5)
主婦、主夫	255 (232)	18.6 (16.9)
無職(学生含む)	289 (293)	21.1 (21.4)
無回答	35 (36)	2.6 (2.6)
合計	1369	100.0

※ ( )内の数字はウェイトバックした値



区分	回答者数(人)	構成比(%)
高松市、三木町、直島町、綾川町	677 (666)	49.5 (48.6)
さぬき市、東かがわ市	119 (113)	8.7 (8.3)
土庄町、小豆島町	46 (47)	3.4 (3.4)
丸亀市、坂出市、善通寺市、宇多津町、琴平町、多度津町、まんのう町	382 (399)	27.9 (29.1)
観音寺市、三豊市	143 (142)	10.4 (10.4)
無回答	2 (3)	0.1 (0.2)
合計	1369	100.0

※ ( )内の数字はウェイトバックした値